

平成29年 **7**月の大阪**森林**便り



今月の木の話

なぜ「木を買わずに山を買え」「山を買うなら北向きの山」なのか

- ・「堂塔の建立には、木を買わずに山を買え」。これは、法隆寺の棟梁に伝わる口伝の一つ。
- ・木の生えている山の状態にあてはめて、その山全体に必要な木をそろえよというのが、この口伝の教え。山の中に沢山ある木から、使う場所に応じて木を選び出すため。
- ・一つの山から伐りだされる木材のうち、北向きの木はお堂の北に北向きに使え。南向きの木はお堂の南へ南向きに使え。自然に逆らわない木の生かし方です。
- ・「木の南側は、南へ向けて建てなくてはいけない」・・・長い年月にわたって南向きで育ち、南向きの生活様式をしてきた木は、南向きに強い木だから。太陽の光は木が育つには役立つと同時にその光に耐えてきたから。(科学的根拠はありません。)
- ・「山を買うなら北向きの山」・・・杉の古くからの産地である奈良県の吉野地方では、日裏（北向き）の山の方が材質が良いといわれています。日裏の山の木は、陽にあたろうとしてどんどん上へ素直に伸びます。伸びるけれども、太陽光線の照射時間との関係から成長は遅くなります。成長が遅いということは、年輪の細かい木ができるので、素直で真つすぐな、目の細かな木が育ちます。
(日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋)



輸入合板 卸値3%高 前月比 先高観で駆け込み需要

- ・輸入合板の卸価格が上昇。住宅用5.5ミリ普通合板の間屋卸価格は、前月に比べ約3%高くなっています。
- ・主産地のマレーシア・サラワク州では原木の伐採税が引き上げられる見通しで、すでに日本向け合板の6月積み商談は5%の値上げで決着しました。
- ・8月には高値で成約した輸入合板が国内市場に出回るとみられます。
(2017年6月16日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

米国産丸太、一部で上昇 対日価格

カナダ産課税控え米で需要

- ・米国産丸太の6月積み対日輸出価格が一部で4か月ぶりに上がりました。
 - ・米松小径木（直径20～28cm）は、5月価格に比べて約1.2%高くなっています。
 - ・梁などに使う米松丸太（直径30cm以上）は据え置きで決着。
 - ・米国では例年6～9月は山火事が多発し、伐採量が減ります。
- ※米国産丸太：日本の原木輸入量では、米国産が約184万m³と約5割を占めます。

（2017年6月14日 日本経済新聞記事から抜粋引用）

マレーシア合板値上げ 対日価格 7月積み6%高提示

- ・マレーシアの南洋材合板メーカーは、7月積みの日本向け輸出価格を前月に比べ6%引き上げる方針を日本の商社に提示。値上げ表明は2か月連続。
- ・同国の木材主産地のサラワク州は、7月から森林保護を理由に伐採税を引き上げます。値上げはこの増税分の転嫁が目的。日本側は、提示額通りの値上げを受け入れる意向。

（2017年6月23日 日本経済新聞記事から抜粋引用）

インドネシア産合板4%値上げ 対日7月積み

- ・コンクリート型枠に使うインドネシア産合板の7月積み対日輸出価格が、6月に比べ4%の引き上げで決まりました。値上げは2か月連続。

（2017年6月24日 日本経済新聞記事から抜粋引用）

針葉樹合板 在庫15%減 国産、5月末

- ・農林水産省が発表した5月末の国産針葉樹合板の在庫量は、前年同月に比べ15.3%少ない98,710m³でした。前月比では4.2%増えました。
- ・出荷量は前年同月比3%増の240,423m³でした。

（2017年6月27日 日本経済新聞記事から抜粋引用）